

1257人診察、7割が女性

目立つ心的外傷 2次被災の恐れも

サイクロン「ナルギ」たミャンマーで、11日の直撃被害を受けから現地で診療活動を



現地保健当局と医療救援活動を行うAMDAMIXANMAIスタッフAMDAMIXANMAI提供

て活動している。

期間中、計1057人の患者の診療にあたり、女性が全体の67%に達し、40代が最も多い。不安などによる心的外傷も多数報告されているという。巡回診療中、生後12日の新生児が極度の栄養失調状態で見つかり、ヤンゴン市の病院へ救急搬送したケースもあった。

被害発生から2週間が過ぎ、今後はマラリア、コレラなどの感染症による2次被災の恐れがあるという。

【二石戸論】

している国際医療援助団体「AMDAMI」（本部・岡山市）が、11日～17日まで1週間の活動状況をまとめた。患者は女性が全体の7割近くを占め、精神的な衰弱が目立っているという。

AMDAMI本部によると、支援活動は5日から始めた。現在、医療チームはヤンゴン市から南に約70キロ離れた、クンジャンゴン市の被災地に入り、11日から同市内6カ所で現地保健当局とともに活動している。チームはミャンマー人スタッフ10人で構成、被災を免れた僧院や家屋を拠点にし